



3月6日 関川中学校卒業証書授与式



3月24日
女川小学校卒業証書授与式

村内小学校の卒業式は3月24日に行われ、5つの小学校あわせて66人が晴れの門出を迎えました。

これからの観光や温泉地の活性化を考えようと、三月三日、高瀬温泉の旅館を会場に、村観光協会主催の「観光交流会」が開かれました。

当日は、観光協会をはじめ温泉旅館組合や商工会などから約三十人が参加。(社)新潟県観光協会から講師を招き、県内の温泉地の取り組み状況を学んだほか、グループに分かれて今後の観光事業の意見交換が行われました。

(社)新潟県観光協会の井上亮次長は、来年秋から開催される新潟デスティネーションキャンペーンやイベントで

の取組事例を説明し「現在の旅行形態は量から質へ変化している。地域で連携した受入企画を構築し、情報発信することが大切です」と講義。また、その後のグループ検討では温泉地の現状や課題、地域の魅力再発見などをテーマに話し合われました。

高橋辰男観光協会副会長は「今回の意見交換会は大変良い機会でした。おもてなしの心を大切にして、お客様を迎えていきたいと思えます」と話していました。

新たな希望を胸に巣立ち

〈小・中学校卒業証書授与式〉

三月六日、関川中学校の「第四回卒業証書授与式」が行われ、卒業生六十一人が思い出と新たな希望を胸に巣立ちました。

卒業生の皆さんは、先生や在校生、保護者、来賓の皆さんが見守るなか、堂々と入場

に卒業証書が手渡されました。嶋貫校長は「卒業生の皆さんは自分たちの力で新しい関川中の伝統をつくらうとがんばってください。これから、自分らしく、思いやりと感謝の気持ちを忘れずにがんばってください」と、励ましの言葉を贈りました。

卒業生を代表して金子翔さん(前生徒会長・高瀬)が「これまで一緒に過ごしてきた卒業生みんな、本当におりがとう。つらいときは、六十一人の笑顔を思い出そう」と思い出を振り返り、涙を浮かべながら答辞を述べました。

卒業式終了後は、在校生が「はなむけの合唱」でエール。また、卒業生は、卒業証書を片手に「はばたきの合唱」を声高らかに歌い上げ、思い出の学び舎をあとにしました。



「観光資源を活用し 今後の活性化を」

～村観光協会が交流会開催～

大勢の鉄道ファンに親しまれてきた全国でも珍しい旧国鉄色気動車が、3月14日のダイヤ改正を機にJR米坂線から引退しました。

時代の流れに反してゆっくりのんびりと走るローカル線の魅力をアピールしてきた旧国鉄色気動車。その最後の雄姿を写真やビデオで撮影しようと、ダイヤ改正前の休日には、県内外から大勢の鉄道ファンが訪れていました。

千葉県柏市から訪れていた男性の方は「撮影は今日で2日目です。米坂線を走るキハの姿を目に焼きつけに来ました」と、熱心に撮影を行っていました。

最後の雄姿に 大勢の鉄道ファン

米坂線の旧国鉄色気動車



JR米坂線八ツ口地内跨線橋にて
(3月9日)

広報せきかわを送りませんか？

村を離れて遠くに暮らす家族の方や友人に、「広報せきかわ」を送りませんか？

年間購読料をお支払いいただければ、毎月郵送で広報をお届けします。

お届け期間 平成21年5月号
～平成22年4月号まで12回

年間購読料 2,000円

申し込み

送付先の郵便番号、住所、氏名、電話番号また
申込者(納付者)の住所、氏名、電話番号

申込期限 随時受け付け

申し込み先 総務課総務班 ☎64-1476

さくら工房(旧上関保育園跡)が 焼き立てパンをお届け

4月2日から販売開始



関川村三障害者通所施設・地域活動支援センター「さくら工房(施設長・横山富男)」が、四月二日から焼き立てパンの製造・販売を始めます。さくら工房ではこれまで、縫製作業が中心でしたが、新規作業として、パンの製造・販売に取り組むもの。製造は、三月四日から六日までの三日間、山崎製パン(株) VEM技術研修所(千葉県)の中原寛隆特別技術指導員を講師に招き、さくら工房の指導員が研修を受講。今後、指導員が中心となってパンを焼

き上げ、通所メンバーが分業で手伝うことにしています。指導員の近京子さん(上関)は「本格焼きたてパンを、ぜひ味わってもらえれば。皆さんのご利用をスタッフ一同お待ちしております」と、話していました。販売は四月二日から「ゆむ」や「ちぐら」で販売するほか、各施設やお宅への訪問販売を行うことにしています。問い合わせ先 関川村地域活動支援センター「さくら工房」 ☎64-1400



パンの種類は、クロワッサンやメロンパン、アップルパイをはじめ、季節に応じて二十品位を販売する予定です。